

# 令和元年度 保育所の自己評価

社会福祉法人みどり福祉会 田中保育所

「保育所は、保育の質の向上を図る為、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づいて検討し、保育園（組織）としての自己評価について、評価の項目、視点、方法および評価結果の示し方等について標準的な様式として作成いたしました。

保育所における自己点検・自己評価

<評価について>

・A、B、C、Dの4段階評価をし、  
該当する欄に○をつける。

A：たいへんよい  
B：よい  
C：一部検討を要する  
D：改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			今年度より自己肯定感の持てる子どもを保育目標に加えた。保育指針も職員一同再度学び直し目標の共通理解を図りたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			今井和子先生の指導を受け一年間保育してきた。職員一同環境構成を工夫し、試行錯誤しながら子どもが喜んで登園してくれる保育園をめざしたい。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			現状は問題がコロナウイルス感染の拡大によっては考える必要あり。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。					コロナウイルス感染拡大予防の為に卒園式も消毒時間短縮参加人員を減らす等の対策を行った。今後も行事のやり方を再度全職員で考えたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○		更に能率的、合理的な運営組織にするためICT導入を検討中である。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	所内研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			市の補助を受け今井先生から3~5歳の異年齢保育の進め方を皆で学んだ。今後限りある保育室をどう使いよからそれぞれの年齢の発達保障を充分できるように職員一同で取り組みたい。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	所外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			
(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。			○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				防犯カメラを4台設置し、常時訪問者等の観察はできるが不審者の対応策として職員間で合点と話を等検討したい。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。					
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			みどり福祉会中の保育園に遠足で行き年長児同志で交流ができた。今後も計画し続けていきたい。小学校も隣にあるので卒園生の授業の様子を参観することができた。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
家庭との地域社会	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		地域のコミュニティと連携し、行事にも積極的に参加して小学校との連携を今年以上に図り年長児が安心して小学校へ入学できるようにしたい。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	○				
	(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開 か れ た 支 援 の 推 進 の 情 報 の 発 信 の 外 部 評 価	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			要望があれば、園の見学市やふれあい広場「〇〇児の親子の保育園体験」等受け入れてきた。 今後こちらからも地域の子育て中の方に情報等を積極的に発信したい。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。					
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価をしてもらう機関が県内に殆どなく導入が難しいか検討したい。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			